

6月定例議会 山岡光広議員が一般質問

単位老人クラブへの活動支援補助

市内には、110を超える単位老人クラブが各地域で活動しています。甲賀市には、「高齢者団体育成補助要綱」があり、単位老人クラブと老人クラブ連合会に対して補助金を支給しています。

ところが、単位老人クラブに対する育成補助金は、「市老人クラブ連合会未加入」の団体は対象外として、支給されていません。

山岡光広議員は、「甲賀市高齢者団体育成補助要綱」には、どの条項をみても、「連合会に加入していないと補助金は支給しない、という条項は一切ない。要綱に基づき申請があれば、支給すべきだ」と求めました。

これに健康福祉部長は、「在宅の高齢者の健康と福祉の増進の観点から老人クラブへの活動支援は大変重要」とし、「老人クラブ連合会との兼ね合いも考慮しながら、どのような形で支援できるか検討したい」と答弁しました。山岡議員は「どういう形で…って検討する必要はない。要綱に基づき申請があれば支給すべき」と再度求めました。

「高齢者育成支援補助要綱」に基づき支給すべき



質問する山岡議員(17日)

山岡議員は、今年度から実施した「子育て支援3つの無償化」(オムツの無償化、一時預かり保育、病児・病後児保育の無償化)は、子

育て世帯にとつて大きな負担軽減になるので評価する、としたうえで、「よい施策であっても、議会に事前の説明もなし、関係する私立保育園に聞き取りも説明もなしに制度化するのは問題、今後の教訓とするためにもどこに問題があったのか、を明らかにすべき」と求めました。これに対して岩永市長は「無償化の決定過程において、その内容や方向性など実施した多くの保育現場の声を十分に汲み取ったかといえ、十分でない点もあったと認識している」と政策形成

過程での合意に不十分さがあったことを認め、「今後は、民間事業所からの意見などを十分にお聞きしながら取り組んでいく」と約束しました。山岡光広議員は、一時預かり保育の無償化については、今議会に提案されている条例改正で「当面の間(無料とする)」となっている点について、「三月の予算議会の時には自分の間という話は全くなかった。政策形成過程の不十分さがここにも表れている」と問題点を指摘しました。病児・病後児保育は、10月から民間が実施します。オムツ無償化は9月から実施。「その間に、私立保育園の意向もふまえて対応したい」と約束しました。信号機がない危険な横断歩道、特に通園・通学路となっている箇所「横断あり」のLED表示板を設置するよう求めたことに対して、市民環境部長は「平成29年度以降事業費を2倍に増額。その事業費のなかでの対応を含め、議員提案の感知表示はじめ、より有効な安全対策について研究していきたい」と前向きな答弁でした。

日本共産党の山岡光広議員は6月17日の本会議・一般質問で、①今年度から実施した「子育て支援3つの無償化」の政策形成過程と今後のあり方、②市民センターの指定管理の実態とその他の市民センターでのシブバー人材センター派遣の課題について、③近江八幡市内で設置された信号機がない危険な横断歩道に「LED表示板」(全国三例目)の設置を甲賀市内でも、④単位老人クラブの活動支援補助は、連合会未加入でも支給すべき、の4つのテーマで質問しました。

山岡議員「3つの無償化は評価するが、議会に説明なし、当該する私立保育園に聞き取りもなしに政策化したのは問題。今後の教訓とすべき」。

岩永市長「十分でない点もあったと認識している」。

開催地・夢洲はゴミの最終処分場。3月末にメタンガス爆発事故も。避難路は橋とトンネルだけ…



「大阪・関西万博」予定地を視察

日本共産党滋賀県地方議員団

「大阪・関西万博」の会場「夢洲(ゆめしま)」は、ゴミの最終処分場のために作られた人工島。有害物質を含む川床の汚泥や建設残土、産業廃棄物が埋まっています。そのため今年3月末には、メタンガスによる爆発事故が起きました。万博開催中も爆発の危険が回避されたわけではありません。期間中2820万人の入場者を見込んでいます。滋賀県は、4歳から高校生まで約18万人を無料招待するというのです。そこで日本共産党滋賀県地方議員団として5月17日現地を視察。移動手段や避難計画、熱中症対策も含めて、「聞けば聞くほど危険な実態」が明らかになり、党議員団として教育長に「子どもらを動員しないよう」求めました。

日本共産党



やまおかみつひろ

山岡光広 市議会議員 活動報告

2024年7月7日
第1032号